【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2012-36386(P2012-36386A)
【公開日】平成24年2月23日(2012.2.23)
【年通号数】公開・登録公報2012-008
【出願番号】特願2011-156528(P2011-156528)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　81/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　23/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　 3/22　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　 3/34　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　 7/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　81/04
Ｃ０８Ｌ　23/00
Ｃ０８Ｋ　 3/22
Ｃ０８Ｋ　 3/34
Ｃ０８Ｋ　 7/14

【手続補正書】
【提出日】平成26年4月24日(2014.4.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）と（Ｂ）と（Ｃ）の合計を１００重量％として（Ａ）ポリフェニレンスルフィド樹脂２５～４５重量％と（Ｂ）水酸化マグネシウム１０～６０重量％および（Ｃ）繊維径が４～１１μｍのガラス繊維１５～６５重量％を配合してなり、熱流計法で測定した熱伝導率が０．８Ｗ／ｍ・Ｋ以上である樹脂組成物を成形してなるモーター冷却用放熱部材。
【請求項２】
前記ガラス繊維の繊維径が５～８μｍであることを特徴とする請求項１に記載のモーター冷却用放熱部材。
【請求項３】
前記樹脂組成物が、前記（Ａ）と（Ｂ）と（Ｃ）の合計１００重量部に対して、さらに（Ｄ）オレフィン系樹脂を１～１０重量部配合してなる樹脂組成物である請求項１～２いずれか記載のモーター冷却用放熱部材。
【請求項４】
前記樹脂組成物が、前記（Ｂ）１００重量部に対して、さらに（Ｅ）タルクおよび／またはマイカを１～４５重量部配合してなる樹脂組成物である請求項１～３いずれか記載のモーター冷却用放熱部材。
【請求項５】
モーターステーター周辺部材に用いられる請求項１～４いずれか記載のモーター冷却用放熱部材。
【請求項６】
インホイールモーターに搭載される請求項１～５いずれか記載のモーター冷却用放熱部材

。